



下北ジオパーク 海と生きる「まさかり」の大地 ～本州最北の地に守り継がれる文化と信仰～



マグロモニュメント(大間)
平成 6 年に水揚げされた
440 kg のマグロ実物大モ
ニュメント

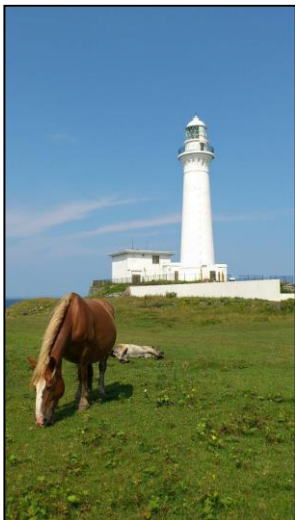
毎年、日本のジオパーク認定機関である日本ジオパーク委員会には、日本と世界ジオパークを目指す地域からの認定申請が届きます。今年も新たに「国引き(島根県)」と「十勝岳(北海道)」の 2 地域が日本ジオパークへの認定を目指しています。

今回は、昨年 9 月に日本ジオパークに認定された「下北」「筑波山地域」「浅間山北麓」「鳥海山・飛島」ジオパークの 4 地域の中から、洞爺湖有珠山ジオパークに一番近い道外のジオパーク「下北ジオパーク」をピックアップして紹介します！

下北ジオパークは本州最北端に位置する「まさかり型」の下北半島です。太平洋、津軽海峡、陸奥湾という 3 つの海に囲まれていて、一番有名な海産物はやっぱり大間の本マグロでしょう！陸奥湾では噴火湾と同じホタテの養殖が盛んで、他にも様々な海の幸に恵まれています。

有名な観光スポットは、火山活動で誕生した山々が信仰の対象となった「恐山」、海岸沿いに高さ 100m もの白い巨岩が 2 km 以上も並ぶ景勝地「仏ヶ浦」、青森県天然記念物のひとつで、寒さに強く、持久力に富んだ馬「寒立馬」のいる「尻屋崎」、本州最果ての温泉地「下風呂温泉郷」など。

下北の大地の魅力と、そこで育まれた歴史と文化を感じに、一度訪れて見たいですね。



尻屋崎灯台と寒立馬
レンガ造りの灯台として日本一の高さを誇る尻屋崎灯台は 120 年以上の歴史がある。
寒立馬は、時代の移り変わりと共に激減したが、現在は保護政策により回復している。



恐山
比叡山、高野山とともに日本三大霊山に数えられる。



仏ヶ浦
如来の首、五百羅漢、一ツ仏、親子岩、十三仏観音岩、大電石、蓮華石、地藏堂、極楽浜などの岩々が並ぶ。

函館からの交通アクセス

